

報 告 書

No. 1

名 称	ナショナル・トレーニング・システム(NTS)		東 海	ブロックトレーニング				
実施期間 1	令和元年 8 月 24 日 ~ 8 月 25 日							
開催場所 1	落合公園体育館・中部大学体育館							
実施期間 2	令和元年 月 日 ~ 月 日							
開催場所 2								
参 加 者	スタッフ	44	名	デモンストレーター	20	名		
	U16選手	42	名	U13選手	39	名		
	推薦指導者	5	名	推薦指導者(U13)	7	名	合計	157
目 的								
NTS 東海 ブロックトレーニング に於ける発掘・育成活動について								
活 動 内 容								
日 時	時 間	内 容						
8月24日	8:30	スタッフ集合・打ち合わせ・会場準備						
	10:00	選手集合・受付						
	10:30	開会式						
	10:40	W-up・Basic7						
	11:20	体力測定						
	12:30	昼食・休憩・移動						
	14:00	トレーニング開始						
	17:00	トレーニング終了・宿舎移動準備						
	19:00	夕食・ミーティング						
	22:00	就寝						
8月25日	6:30	起床						
	7:00	朝食						
	8:00	会場移動						
	9:00	トレーニング開始						
	12:00	トレーニング終了・昼食・休憩						
	13:30	トレーニング開始						
	16:00	トレーニング終了・閉会式・選手解散						
	16:30	スタッフ打ち合わせ・選考会議						
17:30	スタッフ解散							

成 果	
<p>中部大学体育館および落合公園体育館にて多くのスタッフ・推薦指導者のご協力の下、ブロックトレーニングを開催することができた。</p> <p>派遣トレーナーによるBasic7では、ハンドボールにおける望ましい体の使い方について行った。選手は一律に体の使い方に苦戦をしていた。トレーナーからの助言で「継続していくことが大切」であることを選手は知ることができたようだ。</p> <p>DFトレーニングにおいては、選手の感想から「足をたくさん使って守ったら今までよりとても守りやすくなりました。」(U13男子)や「パワーポジションを保つことがDFはとても大事だ」(U13女子)といった声が聞かれた。</p> <p>OFトレーニングでは「正しい状況判断ができると余裕をもってプレーすることができ、それだけでプレーの幅が広がる」(U16男子)、「OFF the Ballの動きの中で、いかにノーマークを作り出すことができるかが大切だと思った」(U16女子)などトレーニングの意図を汲み取りつつ、その効果を実感できる機会を得られた選手が多く見られた。</p> <p>GKトレーニングでは、「今まで細かく教えてもらえなかったキーパーの技術を学びました」(U13男子)の様に、日頃専門的なトレーニングを学ぶ機会の少ない選手にとってはより意義の高い2日間になった様子であった。</p> <p>参加選手にとって多くの経験を得られた2日間となった。</p>	
今後の課題	
<p>全体のスケジュールを見たときに、U16に対しU13の方が全般的に時間がかかってしまう。トレーニングの趣旨説明や選手の理解に時間がかかってしまうため仕方がないことではあるが、そのなかで数多くのトレーニングメニューに取り組もうとすると、落とし込めないまま終わってしまう危険性もある。今後も内容策定については、その辺のバランスを考慮いただいたメニュー策定をお願いしたい。</p> <p>運営については、これまでブロックが担っていた事務作業を発掘育成委員会にて行っていただいたために、とても簡略化できた。発掘育成委員の方のご苦勞を考えると、もう少し仕事内容の割り振りをして良いと感じた。また、Webによる登録も概ねスムーズであったと思う。初年度であったためまだまだ改善の余地はあると思うが、大変良かったと思う。</p> <p>当日の運営に関しては、例年同様やはり宿泊については非常に神経を使う。各種トラブルや緊急事態が生じたときに対応マニュアルの有無ではなく、現場のスタッフの負担(普段知らない選手を預かる心理的な負担)は軽視できないものがある。「選手の自立を促す」と「監督者の責任」のバランスは常に課題であると考えている。</p>	
責 任 者	細井 洋孝 印